

関西学生テニス連盟

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

関西学生テニス選手権大会にあたっての基本的な考え方

- ・大会参加者の安全を最優先に考える。
- ・この感染症対策によって各大学や各選手が不平等な利益や不利益を被ることのないように十分配慮する。

「大会開催における新型コロナウイルス感染症予防対策」

● 開催者

(1) 参加募集時

- ・大会開催に際して、参加者が遵守すべき事項を明確にして記載する。理解が得られない参加者には、他の参加者の安全確保の観点から、参加取り消しや途中退場を求めることがあると周知する。
- ・発熱や倦怠感等、嗅覚障害や味覚障害そして咳、咽頭痛などの呼吸器症状呼吸器症状のいずれかを有する体調不良者の参加を認めない。
- ・過去 14 日以内に入国制限等の国や地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触と特定された者の参加を認めない。
- ・同居家族や身近な人間に感染の疑いがある場合、あるいは 14 日以内に濃厚接触者と特定された者の参加を認めない。
- ・大会参加者に感染が判明した場合に参加者名簿を関係機関に公表する場合があることを周知する。
- ・大会エントリーの際に参加同意書と誓約書の提出を義務付け、了承の得れた大学のみ参加を許可する。

(2) 大会開催期間

- ・選手、指導者、学連の検温結果など二週間にわたる体調管理記録の提出を義務付ける。
- ・選手、指導者、学連以外の会場への入場を原則禁止とする。
- ・選手、指導者、学連には会場に入る際マスクの着用を義務付ける。
- ・試合会場には手指消毒液を配備し、積極的な利用を促す。
- ・開会式や表彰式等を取りやめる。
- ・競技場内で複数の人間が触れると考えられる場所や物品は学連が 1 時間に一度消毒する。筆記用具など運営に必要かつ簡易なものは各自で用意し共有を避ける。

- ・感染者が発生したとしても、感染者が誹謗中傷や非難をされないことがないよう最大限の配慮をする。
- ・試合中とその控えの選手以外の会場入りの制限を行う。
 - SNS 等で進行状況を逐一報告することで早めの会場入りを防ぐ。
- ・試合終了後、速やかな帰宅を促す。
 - 更衣室の利用や会場での過度な休憩を制限する。

- 参加者

- ・大会開催前に学連により指定された体調管理記録の提出をすること。
- ・試合前後ではマスクを着用すること。
- ・会場内では他人との距離を 2 メートル以上確保すること。またコート内においても距離の確保を努力し、ペアと至近距離での話し合いやハイタッチなどを避けるようにすること。
- ・試合開始の挨拶、トスおよび試合後の挨拶は 2 メートル以上離れて行うこと。また選手間の握手は禁止とする。
- ・試合前のアップおよび試合中に密接・密集しないよう心がけること。
- ・学連からなんらかの指示があった場合速やかにそれに従うこと。
- ・チーム内に感染者が発生した場合は直ちに学連に連絡すること。

- with コロナにおける臨時ルール

- ・大会期間中に参加者から感染者がでた場合、専門家や大学の助言に従って大会を中止することがある。
- ・大会期間中に感染が判明した場合は不戦敗扱いとする。
- ・大会期間中に感染者の濃厚接触者と判断された場合、二週間の隔離となるため出場を禁止し不戦敗扱いとする。